

第 4 回 Sus-Edu WG (第 22 号)

私たち Sustainability Education Working Group(Sus Edu WG)は持続可能な地球社会のための学術研究連携 Alliance for Global Sustainability(AGS)の学生組織の一部として東京大学の大学院生を主たるメンバーとして、2004 年 5 月に発足しました。「人づくり」「継承・伝達の間づくり」「機会提供」をメインコンセプトに意欲的な活動を展開し、「Sustainability Education(持続可能性教育)」をキーワードにした学際交流を推進しています。

主な活動概要としては月に 1 回程度の勉強会、外部関連団体とのネットワーキング、外部機会(学会・国際会議・集会など)への参加、メーリングリストでの情報交換などが挙げられます。現在の参加者数はメーリングリスト登録人数としては約 90 名程度です。多様な研究分野から多彩なバックグラウンド(文系、理系はもちろんのこと東京大学以外の様々な大学や NPO・NGO、企業人等)を持つメンバーが集まり勉強会や意見・情報交換を行うことで Sustainability Education の概念の進化や各分野との結びつきの視点の統合を目指します。

例えば企業の社会的責任について企業の方とともに考えたり、大学での Sustainability Education について環境教育先進国であるスウェーデンの発表者を招いてワークショップを行ったりしています。

また、得られた成果を各参加者個人にフィードバックするだけでなく、学術的あるいは行動の形で外部の人々に発信することも重要な活動と位置付けており、5 月祭(東京大学の学園祭)でのポスター発表、ワークショップ、講演会の主催などを通じて情報提供、ネットワーク構築、啓発を行いました。国内にとどまらず海外での ESD(持続可能な開発のための教育)に関する会議にも参加し、海外との関わりも活動に有機的に組み込んでいくことで我々の活動自体が参加者の気づきの促進といった教育・学習機能を持つプラットフォームとして成長を続けると期待しております。

さらにこれまで主に注力してきた環境分野のみならず、ESD の重要な要素である開発教育・国際理解教育そして消費者教育などの分野とも交流を深め、多様性に満ちたアプローチを試みたいと考えています。

文責:護山元気・玉井暁大

ホームページ <http://sus-edu.ags-utsc.org/>